

平成18年度  
(第41期)

事業報告書  
収支決算書

自 平成18年 1月 1日  
至 平成18年12月31日



# 平成18年度 事業報告書

## 1. 事業概要

国立京都国際会館（以下、会館という）における平成18年度の国際会議の件数は32件、同じく国内会議等の件数は261件となり、合計では293件となっております。

主な国際会議としては、新日中友好21世紀委員会（3月 35名）、日米協会国際シンポジウム（4月 400名）、国際胎児診断治療学会（5月 234名）、国際生化学・分子生物学会議（6月 9,527名）、環境経済学世界大会（7月 1,200名）、天然物化学国際会議・生物多様性国際会議（7月 1,350名）、磁性国際会議（8月 1,800名）、世界宗教者平和会議世界大会（8月 2,000名）、持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2006（9月 250名）、科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム〔STSフォーラム〕（9月 650名）、国際文化フォーラム（10月 400名）、国際ユニヴァーサルデザイン会議 in 京都（10月 800名）、パーキンソン病及び運動障害国際会議（10月 3,000名）、地球研国際シンポジウム（11月 1,316名）、国際地籍シンポジウム（11月 2,000名）、アジア太平洋呼吸器学会（11月 2,000名）ほか、恒例の京都賞授賞式（11月）などが開催されました。

一方、主な国内会議等としては、日本人工関節学会（2月 1,000名）、京都ビジネス交流フェア（2月 10,000名）、日本蛋白質科学会年会（4月 1,500名）、日本皮膚悪性腫瘍学会学術集会（4月 1,000名）、日本化学療法学会総会（5月 1,200名）、日本肝臓学会総会（5月 2,500名）、日本皮膚科学学会総会（6月 3,500名）、産学官連携推進会議（6月 3,300名）、日本作業療法士学会（6月 5,000名）、日本神経科学大会（7月 3,202名）、日本療養病床協会全国研究会（9月 2,000名）、日本糖尿病教育・看護学会学術集会（9月 2,000名）、国立病院総合医学会（9月 5,000名）、日本臨床眼科学会総会（10月 7,000名）、全国土地改良大会（10月 4,500名）、日本看護学会成人看護Ⅰ（10月 3,000名）、社団法人日本脳神経外科学会総会（10月 4,000名）、日本赤十字社医学会総会（11月 1,300名）、日本内視鏡外科学会総会（12月 2,500名）、日本肺癌学会総会（12月 2,000名）、ATAC〔Assistive Technology and Augmentative Communication Conference〕（12月 1,000名）のほか、恒例の日本青年会議所京都会議、関西財界セミナー、京都スコープなどが開催されました。

## 2. 収支状況

収入の部では、第一四半期までは耐震改修工事等の影響で会議開催件数は減少したものの、その後は、会議開催件数が増加に転じ、また、大規模会議が下半期を中心に増加したことから、使用料収入の総額は過去最高の16億6,207万円（これまでの過去最高は、平成15年度の14億8,243万円）となりました。これに、その他収入等の3,557万円（開館40周年記念行事積立金戻入益2,000万円を含む）を加算しますと、総収入は16億9,764万円となり、前年度と比較すると2億9,722万円の大幅な増加（対前年比21.2%、開館40周年記念行事積立金戻入益を除くと対前年比19.8%）となっております。

支出の部では、経営の合理化等により人件費が減少しているほか、警備費及び電気機械保守費等が横這いで推移しておりますが、大規模会議の増加に伴う会議運営諸費等の増加で運営費が増加しているのをはじめ、駐車場設備に係るリース契約の更新で駐車場費の増加で委託費などが増加しております。また、管理費では、修繕保守費のほか開館40周年記念行事に係る支出（ただし、同記念行事に係る支出額については、同積立金の範囲内である。）や会館の英語表示

名の変更に伴う各種看板や印刷物等の改訂などもあって、総支出額は前年度と比較すると1億9,082万円増加（対前年比14.1%）して、15億4,589万円となっております。

この結果、税引き前収支差額は1億5,174万円となり、これに法人税等5,500万円を控除すると、控除後の当期収支差額は9,674万円となって、当年度事業計画時の2,000万円を大幅に上回る12年度以降7期連続の黒字決算となっております。

### 3. 開館40周年記念行事

昭和41年5月21日に開館し、本年度で40周年の節目の年を迎えたことを記念して、平成18年5月22日に、大会議場に1,500名の参加者を迎えて、「記念式典及び記念プログラム」を開催しました。

当日は、谷垣財務大臣の名代として竹本副大臣、榊本京都市長のご臨席を頂き、両氏からの祝辞の後、河合文化庁長官による記念講演、更に、黒川理事、堀場理事、明石評議員会議長、片倉評議員をパネリストに、「国際的視点で語る日本と京都」をテーマとするパネル討議が開催されました。なお、当日の参加者全員に「40周年記念誌」と「京都新聞社特集号」を配付しました。

そのほかでは、6月12日に「関西高校模擬国連」（延600名の参加者）を、12月2日には「紅葉の集い」と名付けて、地元（岩倉・上高野・松ヶ崎地区）各種団体長等100名を招待し、館内の案内と懇談会を開催しました。

また、毎年、恒例的に実施している自主企画行事については「開館40周年記念行事」と冠を付して、「乾杯の夕べ」や「春・秋の茶会」等を実施しました。

### 4. 施設整備等

建築後40年を経過しており、部分的な手直しを必要とする改修工事も発生してきているうえに、先般、国の事業で実施された耐震調査によると、耐震改修工事の必要性があったことから、従前から国に対して早急に対策を講じられたいとの要請を行っておりますが、今年度は、平成18年に完工した厨房を含むP棟の耐震改修工事に引き続き、平成18年度の国の補正予算で、M棟5階・6階部分及びS棟の耐震改修工事が実施されることとなりました。

また、アジア開発銀行年次総会の開催を5月に控えて、大会議場の椅子改修工事が平成17年度の国の予算で執行されており、18年3月には完工する予定となっております。

なお、今年度の主な工事概要は下記のとおりであり、これらの工事は18年1月～3月に完工しております。

- ① P棟耐震工事（宴会場さくら及び厨房を含む）
- ② 貴賓室のセキュリティー対策及び建具改修工事
- ③ 専用道路の舗装改修工事

### 5. 平成19年度の収支見通し

収入の部では、大規模な国際会議となるアジア開発銀行年次総会（5月 2,500名）をはじめ会議開催件数も堅調に推移していることから、使用料収入は概ね高水準を維持できる見通しであります。一方、支出の部では、引き続き事務の合理化を図り、経費削減に努力することにより、黒字決算が見込まれ、18年度に引き続き順調に推移する見通しであります。

一 業 務

1. 会場の使用状況

ア. 国際会議の実績

区 分	平成18年度	平成17年度	前 年 差
開 催 件 数	32件	43件	△ 11件
参 加 人 員	34,978人	27,300人	7,678人
使 用 料 収 入	531,753千円	472,625千円	59,128千円
1 件当たり参加人員	1,093人	635人	458人
1 件当たり使用料収入	16,617千円	10,991千円	5,626千円

イ. 国内会議等の実績

区 分	平成18年度	平成17年度	前 年 差
開 催 件 数	261件	273件	△ 12件
参 加 人 員	280,943人	251,561人	29,382人
使 用 料 収 入	1,008,811千円	804,103千円	204,708千円
1 件当たり参加人員	1,076人	921人	155人
1 件当たり使用料収入	3,865千円	2,945千円	920千円

ウ. 会議等の内容からみた開催件数

区 分	国際会議	国内会議等	計	前 年 度
政治・経済・法律	4件	15件	19件	26件
科学・技術	13	6	19	19
医学	5	59	64	51
産 業	1	46	47	65
芸術・文化・教育	5	31	36	43
社 会		10	10	19
運輸・観光			0	2
社交・親善	1	43	44	73
宗 教	1	3	4	4
スポーツ		3	3	1
その他の	2	45	47	13
計	32	261	293	316

エ. 月別にみた開催件数及び開催日数

月 別	開 催 件 数			開 催 日 数		
	国際会議	国内会議等	計	国際会議	国内会議等	計
18年1月	1件	21件	22件	7日	26日	33日
2月	0	18	18	0	30	30
3月	4	26	30	11	34	45
4月	2	32	34	4	43	47
5月	3	29	32	9	40	49
6月	1	17	18	6	25	31
7月	5	27	32	22	36	58
8月	2	12	14	10	21	31
9月	2	23	25	5	32	37
10月	5	13	18	18	27	45
11月	6	28	34	22	36	58
12月	1	15	16	1	22	23
計	32	261	293	115	372	487
前年度	43	273	316	132	400	532

オ. 主な会場の稼働日数

会 場 名	国際会議	国内会議等	計	前 年 度
大 会 議 場	49日	133日	182日	145日
会 議 場 A	62	113	175	129
会 議 場 B - 1	51	92	143	111
会 議 場 B - 2	55	86	141	102
会 議 場 C - 1	48	92	140	94
会 議 場 C - 2	62	101	163	102
会 議 場 D	46	93	139	138
イ ベ ン ト ホ ー ル	39	127	166	153
ア ネ ッ ク ス ホ ー ル	53	133	186	154
計	465	970	1,435	1,128

カ. イベントホールの稼働実績

内 容	国際会議	国内会議等	計	前 年 度
開 催 件 数	8件	45件	53件	50件
うち 単 独 使 用	0	12	12	11
本館との併用使用	8	33	41	39
延 使 用 日 数	39日	127日	166日	153日

(いずれも前掲資料オの内書)

キ. ロッジの稼働実績

延 客 室 数	利 用 客 室 数	客 室 稼 働 率
10,650室 (30室×355日)	4,327室	41%
前年度 10,650室 (30室×355日)	4,138室	39%

(ロッジの運営は株式会社国立京都国際会館食堂へ委託)

なお、本年度に開催された国際会議及び平成19年度に開催の申し込みを受けている国際会議は次のとおりであります。

(1) 平成18年度に開催された国際会議

会 議 名	開 催 期 間	参加国数	参加人数
ISO/IEC JTC/SC37 Working Group Meeting	18. 1. 9～ 1.14	16	135
APOトップマネジメントフォーラム	3. 6～ 3. 9	19	75
ISO/IEC JTC1/SC31 Working Group Meeting	3.13～ 3.17	29	90
新日中友好21世紀委員会	3.23～ 3.24	2	35
第16回技術交流協会	4. 9～ 4.11	9	34
第5回日米協会国際シンポジウム	4.21	2	400
第13回国際胎児診断治療学会	5.28～ 5.31	27	234
第20回国際生化学・分子生物会議	6.18～ 6.23	71	9,527
第3回環境経済学世界大会	7. 4～ 7. 7	26	1,200
第13回小角散乱国際会議	7.10～ 7.13	47	750
第25回天然物化学国際会議・第5回生物多様性国際会議	7.23～ 7.28	26	1,350
第17回回路網とシステムの数学的理論に関する国際シンポジウム	7.24～ 7.28	30	500
第17回磁性国際会議	8.20～ 8.25	51	1,800
第8回世界宗教者平和会議世界大会	8.26～ 8.29	100	2,000
持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2006	9. 8～ 9. 9	13	250



会 議 名	開 催 期 間	参加国数	参加人数
第3回科学技術と人類の未来に関する 国際フォーラム	9.10～9.12	61	650
ISFR Symposium	10.9～10.11	8	50
第4回国際イリザロフ法学会	10.12～10.14	16	320
第4回国際文化フォーラム	10.21	10	400
第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議2006 in 京都	10.22～10.26	21	800
International Workshop on Nitride Semiconductors	10.23～10.27	30	800
第10回パーキンソン病及び運動障害国際会議	10.29～11.2	41	3,000
第8回超臨界流体国際シンポジウム	11.6～11.8	31	500
地球研第1回国際シンポジウム	11.6～11.8	15	1,316
第22回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワーク ショップ	11.10～11.12	26	4,550
第5回国際地籍シンポジウム	11.13～11.14	3	2,000
第11回アジア太平洋呼吸器学会	11.20～11.22	31	2,000
IDW, LAD-WS in Kyoto 2006	12.9	6	70
その他4件			142
計 32 件			34,978

## (2) 平成19年度に開催の申し込みを受けている国際会議（平成18年12月31日現在）

会 議 名	開 催 期 間	参加人数
第33回国際胚移植学会	19. 1. 6～ 1.10	600
国際 oyaji サミット in Kyoto	2. 3	500
「気候変動に関する世界市長・首長協議会」京都会議	2.16～ 2.18	1,500
APOトップマネジメントフォーラム	2.26～ 2.28	60
環境問題と経済・財政の対応に関する国際シンポジウム	2.28	100
第1回国際心筋症・心不全学会	3.11～ 3.13	300
第17回アジア太平洋肝臓会議	3.27～ 3.30	2,000
第23回臨床フリーラジカル会議	3.30	200
第2回国際バイオ鉄学会総会	4. 1～ 4. 6	600
WCTS 会議	4.12	30
アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する国際会議	4.23～ 4.24	150
第40回アジア開発銀行年次総会	5. 2～ 5. 8	2,500
第15回国際女性心身医学会総会	5.13～ 5.16	1,500
第22回 ITU-R WP8F およびワークショップ	5.23～ 5.31	280
オーストラリア留学フェア2007	6. 2	1,000
第11回チタン世界会議	6. 4～ 6. 7	600
第8回 ISO/TC79/SC11 (チタン) 国際会議	6. 8	16
ロス・ウィリアムス International Society Orthodontists	6. 9～ 6.11	150
第16回国際複合材料会議	7. 9～ 7.13	700
国際児童文学学会第18回日本大会	8.25～ 8.29	150
SIGCOMM 2007	8.27～ 8.31	500
化学推進の特別な話題にかかわる国際シンポジウム	9.17～ 9.21	250
YPO 2007 京都社長大学	9.28～ 9.29	400
第61回 IFA (国際租税協会) 年次大会	9.30～10. 5	1,000
科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム第4回年次会合	10. 7～10. 9	1,000
ヨーロッパ国際トピカルチーム (沸騰・二相流・界面現象分野) ワークショップ	10.27～10.28	80
第5回東アジア POPs モニタリングワークショップ	10.31～11. 2	50
京都国立博物館2007年国際シンポジウム	11. 3	450
第20回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議	11. 5～11. 8	350
OOTR (乳癌に関する国際会議)	11. 8～11.10	300
第23回京都賞授賞式・記念講演会・記念ワークショップ	11. 8～11.10	3,000
第3回ポリフェノールと健康国際会議	11.25～11.28	200
第4回国際フードファクター学会	11.26～12. 1	650
第3回アジア太平洋計算力学学会 (APCOM07)	12. 2～12. 6	600
計 34 件		

## 2. 駐車場の使用状況

区分	平成18年度		平成17年度		台数の前年対比	
	台数	金額	台数	金額	増(△)減	比率
バス	1,836 <sup>台</sup>	3,390 <sup>千円</sup>	1,299 <sup>台</sup>	2,356 <sup>千円</sup>	537 <sup>台</sup>	141 <sup>%</sup>
一般車	74,121	55,093	67,853	50,045	6,268	109
二輪車	8,329	1,987	5,961	1,436	2,368	140
貸切料		3,577		5,189		
合計		64,047		59,026		

## 二 開館40周年記念行事等

### 1. 主な行事

① 記念式典及び記念プログラム 平成18年5月22日(月) 1,500名

(1) 記念式典 13時30分～13時55分

映像 映像で見る40年

挨拶 川勝理事長

祝辞 谷垣財務大臣

祝辞 榊本京都市長

(2) 記念講演 14時～15時

演題「国際化時代における日本」

講師 文化庁長官 河合 隼雄氏

(3) パネル討議 15時～16時30分

テーマ「国際的視点で語る日本と京都」

パネリスト 明石 康氏 元国連事務次長

片倉もとこ氏 国際日本文化研究センター所長

黒川 清氏 日本学術会議会長

堀場 雅夫氏 (株)堀場製作所最高顧問 (五十音順)

コーディネーター 中村館長

② 関西高校模擬国連 平成18年6月12日(月)～15日(木) 延 600名

③ 紅葉の集い「地元各種団体長との懇談会」平成18年12月2日(土) 100名

## 2. 40周年記念行事を冠に付して実施した自主企画行事

① 観桜の集い	平成18年4月2日(日)	860名
② 春の茶会	平成18年4月9日(日)	700名
③ 乾杯の夕べ	平成18年7月14日(金)～15日(土)	延 3,400名
④ 秋のダンスの夕べ	平成18年9月5日(火)	140名
⑤ 秋の茶会	平成18年11月26日(日)	700名

## 3. 記念誌等の作成

- ① 40周年記念誌(50周年へ向けての更なる飛躍)
- ② 40周年記念映像(映像で見る40年)
- ③ 京都新聞特集号掲載
- ④ 国際会館プロモーションDVD

### 三 理事会及び役員事項

#### 1. 理事会

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
第 82 回 理 事 会	平成18年3月28日 午前11時～ 12時15分 会館 C-1 会議室	第 1 号議案 平成17年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、当期収支差額処分計算書、剰余金計算書（案）及び財産目録認定の件。 本件は原案のとおり認定されました。
第 83 回 理 事 会	平成18年12月7日 午前11時～ 12時10分 会館510会議室	第 1 号議案 平成19年度事業計画案 本件は原案のとおり認定されました。 第 2 号議案 平成19年度収支予算案 本件は原案のとおり認定されました。 第 3 号議案 評議員辞任の件 石倉洋子評議員、堀野廣評議員、弓削昭子評議員の辞任が承認されました。 第 4 号議案 評議員選任の件 齊藤修氏、土居範久氏が評議員に選任されました。 第 5 号議案 顧問及び参与推薦の件 現顧問の荒巻禎一氏、上田稔氏と、現参与の井上伸氏、伊吹邦彦氏、清水芳信氏、山中英治氏を顧問並びに参与に推薦することが決定されました。

#### 2. 役員の変動

役員氏名	異動年月日	登記年月日
理事 石橋三洋	平成18年1月1日就任	平成18年1月18日
理事 酒井国生	平成18年1月1日就任	平成18年1月18日
理事 佐藤茂雄	平成18年1月1日就任	平成18年1月18日
理事 南谷昌二郎	平成18年1月1日就任	平成18年1月18日
理事 井上達也	平成18年2月15日辞任	平成18年3月7日
理事 小谷隆一	平成18年3月23日辞任	平成18年4月5日
理事 國松善次	平成18年11月30日辞任	平成18年12月27日
理事 嘉田由紀子	平成18年12月1日就任	平成18年12月27日
理事 金澤一郎	平成18年12月1日就任	平成18年12月27日
監事 森川敏雄	平成18年1月1日就任	—
監事 秋元満	平成18年11月30日辞任	—
監事 柏原康夫	平成18年12月1日就任	—

### 3. 役員氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	川勝堅二	理事	小林公平
副理事長	稲盛和夫	理事	小近高志
副理事長	小林立	理事	後藤藤生
副理事長	和田龍幸	理事	酒井高
常任理事	中野村順一	理事	佐藤茂
常任理事	野村明一	理事	關淳
常任理事	卷野頼純	理事	千玄
常任理事	榊本純啓	理事	立宗
常任理事	村田山久	理事	義昭
常任理事	山坊喜専	理事	昭清
常任理事	池田隆三	理事	昌二
常任理事	石井敏	理事	南藤
常任理事	尾原和敬	理事	藤原
常任理事	大倉一夫	理事	堀場
常任理事	太田建善	理事	増田
常任理事	大柿嘉由紀	理事	松正
常任理事	金北一恪	理事	水正
常任理事	北木良	理事	目片史
常任理事	黒川樹清	理事	森脇立
		理事	矢弘
		理事	吉新
		理事	領一
		理事	柏康
		監事	森敏
		監事	川雄

理事長1名 副理事長3名 常任理事6名 理事39名 監事2名 計51名 (平成18年12月末日現在)

### 4. 顧問及び参与

役職名	氏名	役職名	氏名
顧問	荒卷禎一	参与	井上伸彦
顧問	上田稔	参与	伊吹邦彦
		参与	清水芳信
		参与	山中英治

顧問2名 参与4名 計6名

(平成18年12月末日現在)

#### 四 評議員会及び評議員事項

##### 1. 評議員会

会議の区分	開催の日時場所	会議の目的事項
第9回 評議員会	平成18年3月13日 午前11時～ 12時40分 会館 C-1 会議室	第1号議案 平成17年度事業報告及び収支決算報告の件 本件は原案のとおり認定されました。
第10回 評議員会	平成18年11月30日 午前11時～ 12時40分 会館510号室	第1号議案 平成19年度事業計画案 本件は原案のとおり認定されました。 第2号議案 平成19年度収支予算案 本件は原案のとおり認定されました。 第3号議案 理事辞任の件 國松善次理事の辞任が承認されました。 第4号議案 新理事選任の件 嘉田由紀子氏、金澤一郎氏が理事に選任されました。 第5号議案 監事辞任の件 秋元満監事の辞任が承認されました。 第6号議案 新監事選任の件 柏原康夫氏が監事に選任されました。 第7号議案 顧問及び参与推薦の件 現顧問の荒巻禎一氏、上田稔氏と、現参与の井上伸氏、伊吹邦彦氏、清水芳信氏、山中英治氏を顧問並びに参与に推薦することが決定されました。

##### 2. 評議員の異動

評議員氏名	異動年月日
評議員 石倉洋子	平成18年1月1日就任
評議員 平野次郎	平成18年1月1日就任
評議員 石倉洋子	平成18年12月7日辞任
評議員 堀野 廣	平成18年12月7日辞任
評議員 弓削昭子	平成18年12月7日辞任
評議員 齊藤 修	平成18年12月8日就任
評議員 土居範久	平成18年12月8日就任

3. 評議員氏名

役職名		氏名				役職名		氏名			
議長	明	石	康	評	議	員	須	藤	眞	志	
副議長	中	平	典	評	議	員	高	木	壽	一	
副議長	芳	賀	徹	評	議	員	武	田	盛	治	
評議員	安	藤	弘	評	議	員	土	居	範	久	
評議員	池	坊	紀	評	議	員	中	西	輝	政	
評議員	市	田	み	評	議	員	中	村	桂	子	
評議員	井	端	彦	評	議	員	中	村		稔	
評議員	上	村	子	評	議	員	萩	尾	千	里	
評議員	宇	治	彦	評	議	員	端	井	信	行	
評議員	冲	村	樹	評	議	員	平	野	誠	一	
評議員	小	野	之	評	議	員	古	川	次	郎	
評議員	片	倉	こ	評	議	員	堀	内	英	昭	
評議員	北		徹	評	議	員	堀	場	光	子	
評議員	木	下	夫	評	議	員	本	間	正	厚	
評議員	久	米	貞	評	議	員	松	重	和	明	
評議員	齊	藤	修	評	議	員	森	口	邦	美	
評議員	坂	本	弘	評	議	員	山	本	信	彦	
評議員	相	良	昭	評	議	員	吉	田	和	孝	
評議員	篠	原	一	評	議	員				男	
評議員	下	島	雄								

議長 1 名 副議長 2 名 評議員 36 名 計 39 名

(平成18年12月末日現在)



## 五 庶務事項

### 1. 施設の管理再委託契約

当財団法人と京都市が締結している管理再委託契約の施設の内容は次のとおりであります。

(注：国と京都市との間で国有財産管理委託契約を締結)

区 分	種 目	名 称	数 量	価 格
土 地	宅 地		156,096.77㎡	5,428,982,551円
立木竹	樹 木		801 本	26,510,921
建 物	事務所建	会 議 場	<u>14,693.54</u> 37,786.48㎡	2,885,687,453
	事務所建	展 示 場	<u>4,860.69</u> 7,976.58	596,311,736
	雑屋建	車 寄	<u>126.11</u> 126.11	9,813,200
	雑屋建	ポンプ室	<u>189.93</u> 189.93	16,658,006
	雑屋建	渡 廊 下 (連絡歩廊)	<u>449.76</u> 449.76	60,061,412
	雑屋建	渡 廊 下 (連絡歩道橋)	<u>188.24</u> 188.24	68,125,239
	雑屋建	渡 廊 下 (既設地下鉄出入口上屋)	<u>9.33</u> 9.33	5,421,937
	車庫建	ごみ容器置場	<u>16.43</u> 16.43	511,484
		計		<u>20,534.03</u> 46,742.86
工 作 物			一 式	7,200,404,489
合 計				16,298,488,428

### 2. 変更登記

第82回理事会で認定された平成17年12月末日現在の財産目録にもとづき、平成18年3月31日資産総額の変更登記をしました。

資産総額（純財産） 1,591,967,165円（前年 1,494,316,709円）

### 3. 外貨両替

18年度中の外国通貨及び旅行小切手の買取は514件、米ドル換算にて111,522ドルの両替実績でありました。（前年281件 60,052ドル）

#### 4. 会議準備資金融資制度

本年度中の新規の資金融資は2件、800万円でありました。

なお、平成18年12月31日現在融資中のものは、次のとおりであります。

- (1) アジア太平洋計算力学会議 500万円（融資期間 平成17年4月15日～平成19年12月14日）
  - (2) 第2回国際バイオ鉄学会総会 500万円（融資期間 平成18年7月1日～平成19年4月6日）
  - (3) 第45回日本癌治療学会総会 300万円（融資期間 平成18年9月25日～平成19年11月24日）
- 計3件      1,300万円

#### 5. 休館日

本年度中に次の日を休館しました。

- 平成18年1月1日（日）～4日（水）      4日間    年始休館
- 平成18年12月24日（日）～25日（月）      2日間    受電設備点検等
- 平成18年12月28日（木）～31日（日）      4日間    年末休館

#### 6. 事務局に在職する職員は次のとおりであります。

区 分	男	女	合 計	前 年 度
館長（常任理事）	1	0	1	1
事務局長（理事）	1	0	1	1
事務副局長	1	0	1	1
総務部	6	1	7	8
施設部	11	1	12	12
営業部	8	9	17	17
調査役	1	0	1	1
合 計	29	11	40	41

（平成18年12月末日現在）

# 平成18年度 収支決算書

## (1) 収支計算書

自 平成18年1月1日  
至 平成18年12月31日  
(単位 円)

支 出 の 部		収 入 の 部	
人 件 費	379,302,645	使 用 料	1,662,071,088
職 員 給 料	234,776,121	使 用 料 収 入	1,540,564,434
期 末 手 当	71,318,629	飲 食 宿 泊 施 設 使 用 料 収 入	55,209,391
退 職 金	14,380,000	駐 車 場 収 入	64,047,263
通 勤 手 当	6,919,183	売 店 使 用 料 収 入	2,250,000
法 定 福 利 費	48,458,766	利 息 収 入	916,621
福 利 厚 生 費	3,449,946	基 本 財 産 利 子	882,008
委 託 費	289,740,305	受 取 利 息	34,613
会 場 設 営 費	55,068,514	そ の 他 収 入	1,341,357
駐 車 場 費	22,434,369	地 下 鉄 連 絡 通 路 収 入	7,418,809
館 内 案 内 費	35,260,202	自 主 企 画 事 業 収 入	5,893,334
警 備 費	33,741,600	開 館 40 周 年 記 念 行 事 積 立 金 戻 入 益	20,000,000
清 掃 費	57,973,324		
電 気 機 械 保 守 費	58,386,027		
雑 給	26,876,269		
運 営 費	604,431,170		
電 力 使 用 料	35,568,699		
ガ ス 使 用 料	62,813,347		
水 道 使 用 料	11,804,679		
広 報 宣 伝 費	7,385,993		
通 信 運 搬 費	5,714,714		
運 営 用 消 耗 品 費	67,705,675		
会 場 運 営 諸 費	413,438,063		
管 理 費	260,650,096		
修 繕 保 守 費	100,204,584		
庭 園 保 守 費	42,448,000		
交 際 接 待 費	3,449,366		
旅 費	10,453,939		
事 務 印 刷 費	26,931,970		
保 險 料	1,920,067		
会 議 行 事 費	3,534,070		
諸 会 費 分 担 金	5,521,646		
諸 費	2,415,674		
減 価 償 却 費	62,845,252		
固 定 資 産 除 却 費	925,528		
地 下 鉄 連 絡 通 路 維 持 費	6,699,390		
自 主 企 画 事 業 費	5,074,753		
法 人 税 等	55,000,000		
当 期 収 支 差 額	96,742,850		
合 計	1,697,641,209	合 計	1,697,641,209

## (2) 正味財産増減計算書

自 平成18年1月1日  
至 平成18年12月31日  
(単位 円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	96,742,850	
運用資産受入額	114,733,454	211,476,304
2. 負債減少額	0	0
増加額合計		211,476,304
II 減少の部		
1. 資産減少額		
積立金戻入益	20,000,000	20,000,000
2. 負債増加額	0	0
減少額合計		20,000,000
当期正味財産増加額		191,476,304
前期繰越正味財産額		1,591,967,165
期末正味財産合計額		1,783,443,469

## (3) 貸借対照表

平成18年12月31日現在  
(単位 円)

資 産 の 部		負 債 ・ 基 金 の 部	
流 動 資 産	998,733,390	流 動 負 債	443,749,163
現 金	7,931,686	未 払 費 用	166,182,279
普 通 預 金	555,825,569	前 受 金	35,006,148
未 収 金	368,482,131	一 時 預 り 金	44,448,461
販 売 物 品	834,940	職 員 預 り 金	10,052,336
前 払 費 用	1,358,456	仮 受 消 費 税	73,626,439
仮 払 消 費 税	64,300,608	保 証 預 り 金	58,600,000
固 定 資 産	350,188,402	未 払 法 人 税 等	55,833,500
有形固定資産(通常運用)	(123,111,802)	固 定 負 債	346,890,000
建 物 付 属 設 備	214,235,293	退 職 給 与 引 当 金	295,490,000
車 両 運 搬 具	4,872,224	特 別 修 繕 引 当 金	51,400,000
工 具 器 具 備 品	303,782,198	基 金	1,315,689,132
立 木	1,000,000	基 本 財 産	375,950,000
茶 室 建 物	74,243,303	運 用 財 産	939,739,132
茶 室 付 属 設 備	4,400,000	剰 余 金	467,754,337
茶 室 備 品	3,017,500	次 期 繰 越 剰 余 金	467,754,337
計	605,550,518	(うち当期末処分剰余金)	(96,742,850)
減 価 償 却 累 計 額	△ 482,438,716		
有形固定資産(第一次運用)	(10,858,904)		
車 両 運 搬 具	987,900		
機 械 装 置	12,478,800		
工 具 器 具 備 品	89,261,190		
計	102,727,890		
減 価 償 却 累 計 額	△ 91,868,986		
有形固定資産(第二次運用)	(2,371,831)		
工 具 器 具 備 品	47,436,660		
減 価 償 却 累 計 額	△ 45,064,829		
有形固定資産(第三次運用)	(3,287,606)		
工 具 器 具 備 品	65,589,690		
減 価 償 却 累 計 額	△ 62,302,084		
有形固定資産(第四次運用)	(10,484,083)		
工 具 器 具 備 品	112,637,490		
減 価 償 却 累 計 額	△ 102,153,407		
有形固定資産(随時運用)	(199,336,976)		
工 具 器 具 備 品	345,287,867		
減 価 償 却 累 計 額	△ 145,950,891		
無 形 固 定 資 産	(737,200)		
会 議 ソ フ ト ウ ェ ア	11,600,000		
通 信 加 入 権	737,200		
計	12,337,200		
減 価 償 却 累 計 額	△ 11,600,000		
投 資 等	1,225,160,840		
投 資 有 価 証 券	49,850,000		
貸 付 信 託	26,000,000		
定 期 預 金	191,500,000		
普 通 預 金	957,810,840		
合 計	2,574,082,632	合 計	2,574,082,632

#### (4) 当期収支差額処分計算書

(単位 円)

I	当期収支差額	96,742,850
II	当期処分額	0
III	当期末処分剰余金	96,742,850

#### (5) 剰余金計算書

(単位 円)

I	前期未処分剰余金	371,011,487
II	当期末処分剰余金	96,742,850
III	次期繰越剰余金	467,754,337